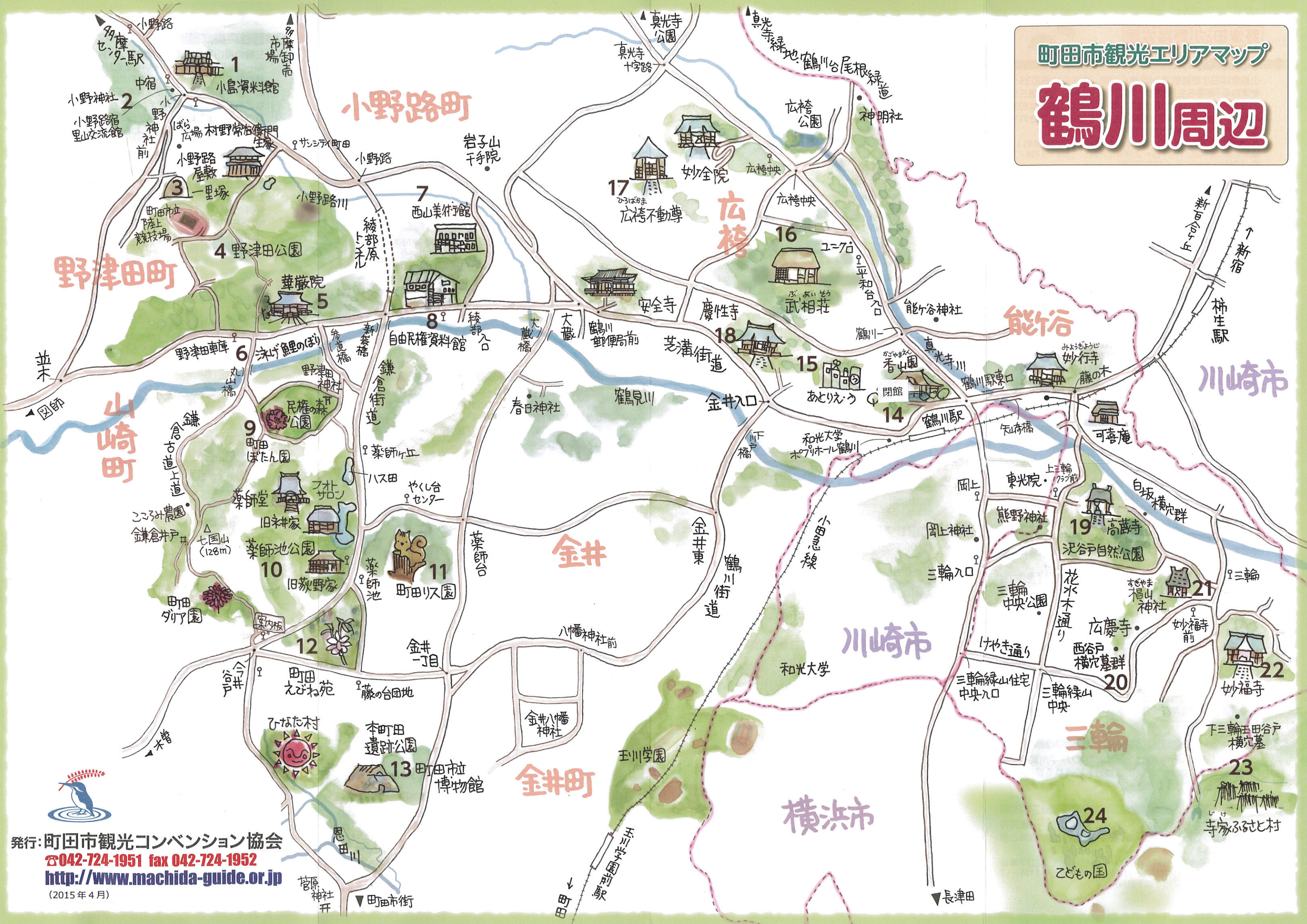


鶴川周辺



野津田・小野路方面

1 小島資料館 (小野路 950) ☎042(736)8777

小島家は旧小野路宿で24代続く旧家。幕末には周辺35ヶ村を束ねる「寄場名主」を務め、新選組の近藤勇、土方歳三らとの交流もあった。歴代の当主には文人も多く、膨大な和漢書のほか村方史料、新選組関係文書、遺品なども保存されている。屋敷内に「小島資料館」(見学は要予約)がある。

※「鶴川駅」5番乗場から鶴32系統で「小野神社前」下車徒歩約1分
■第1・3日曜開館(1月1日～2月末日休館) 13時～17時/入館料:中学生以上600円・小学生300円

2 小野神社

小野路の地は古代から鎌倉街道の重要な中継点の一つとして知られていたが、天禄年間(972年頃)に武蔵国司として赴任した小野孝泰(小野篁の7代後の子孫)が、この地に祖先の小野篁(たかむら)を祀ったのが始まりとされる。

かつてこの神社にあった鐘は、文明年間に山内上杉氏と扇谷上杉氏が争った際、山内上杉氏の兵によって陣鐘として持ち去られ、現在は神奈川県逗子市沼間の海宝院にて梵鐘として使用されている。

3 小野路一里塚

野津田公園西入口に位置し、江戸時代初期の御尊権榎成道(ごそんげつおなりみち)の整備とともに造られた。この時の小野路村の苦勞に対して、幕府は以降、助郷(すけごう:江戸時代、街道に設けられた宿駅で人馬を提供する課役)を免除したと伝えられている。江戸中期には、大山道の道路標識として利用された。道の片側だけ残されていたが、公園整備の一環として両側とも復元された。

4 野津田公園 ☎042(736)3131

多摩丘陵の豊かな自然に囲まれ、幼児から高齢者まで、身近にスポーツ、レクリエーションを楽しむことができる総合公園。芝生広場、雑木林の中を散歩できる「こもれびの路」やスキ草地等も。また、園内にはサークル活動、会議、お茶会等に利用でき、庭園が美しい「小野路屋敷」がある。その北側には、**ばら広場**があり380種、約840株が植栽されている。5月下旬から6月上旬と10月下旬から11月上旬が見頃。**村野常右衛門生家**(移築)は町田市指定有形文化財。江戸時代末の創建時の茅葺きから、当時としては珍しい鉄板葺きに大改造した大正13年の往時の姿に移築、復元された。

※「鶴川駅」0番乗場から鶴33/37系統で「野津田車庫」下車徒歩約10分 ■村野常右衛門生家:土・日曜・祝休日公開、12月28日～1月4日休館 10時～16時

5 華厳院 (野津田町 608) ☎042(735)5778

真言宗の寺院で、寺号は普光山明王寺という。かつては福王寺と号し、天平年間に建てられたとされる。その後、寺は廃れたので、この地にあった明王寺という廃寺に移って中興された。境内の墓地には、民権指導者で有名な村野常右衛門の墓がある。また、華厳院脇の坂道は、掘割状遺跡があり、鎌倉街道の跡と言われ貴重な歴史遺産となっている。

※「鶴川駅」0番乗場から鶴33/37系統で「野津田車庫」下車徒歩約2分

6 鶴見川泳げ鯉のぼり (野津田町:参道橋付近)

4月下旬から5月上旬「鶴見川泳げ鯉のぼり・甲州武者のぼり」開催。七国山北側の芝溝街道に沿って流れる鶴見川で、たくさんの鯉のぼりが空を泳ぐ。

7 西山美術館 (野津田町 1000) ☎042(708)2480

6,000坪の庭園にロダン&ユトリロ専門の美術館。一組30万円のマイセンで飲むコーヒーは格別。美術館、庭園散策と併せてお楽しみを。

※「鶴川駅」0番乗場から町53・鶴33/37系統で「綾部入口」下車徒歩約2分 ■月・火曜休館(祝日・振替休日の場合開館) 11時～17時/入館料:1,200円(15才以下無料)

8 自由民権資料館 (野津田 897) ☎042(734)4508

野津田は、自由民権運動の一大拠点であり、この資料館も多摩の民権家たちの錬成道場「凌霄館」(りょうそうかん:主宰者・村野常右衛門)の跡地に建てられている。明治時代前半から半ばにかけて「自由」「権利」「平等」を求めて奔走した常右衛門、石阪昌孝・公歴をはじめ、若き頃、民権運動に呼応して政治家を志した北村透谷等の貴重な資料を公開している。

※「鶴川駅」0番乗場から町53・鶴33系統で「綾部入口」下車徒歩約1分 ■月曜休館(祝日・振替休日の場合開館) 9時～16時30分

薬師池周辺

9 町田ぼたん園 (野津田 2274-1) ☎042(724)4399

薬師池公園の北側に位置する**民権の森公園**内。330種類1,700株のボタンが植え込まれ、4月下旬から5月上旬にかけて、赤やピンク、白、黄色などの色鮮やかな大輪の花を鑑賞できる。また、自由民権運動の指導者であった石阪昌孝の墓が隣接し、園内にはその長女美那子と北村透谷が出会ったゆかりの地を記念した、**自由民権の碑**がある。この公園に接して、東京都が指定する町田民権の森緑地保全地域約19,000平方メートルが広がっている。

※「鶴川駅」0番乗場から町53系統で「薬師ヶ丘」下車徒歩約7分 ■ぼたん園:開花に合わせて4月中旬～5月上旬頃開園(有料) 8時30分～16時/ぼたん園開園以外は民権の森公園として無料開園

10 薬師池公園 (野津田町 3270) ☎042(724)4399

「新東京百景」「東京都指定名勝」「日本の歴史公園百選」に選定された町田市を代表する公園。池を中心とした静かな和風公園は、梅・桜・椿・藤・ハナショウブ・アジサイ・大賀ハス等四季折々の彩りが自慢。江戸時代の古民家2棟(**旧永井家住宅**と**旧荻野家住宅**)が移築され、「やくし茶屋」ではあんみつや抹茶を楽しむ。園内北西丘陵にある、野津田薬師といわれている**福王寺薬師堂**の御本尊様は秘仏で、12年に一度、寅年の4月1日から5月5日までの約1カ月間だけ扉が開かれ、拝観することができる。**町田市フォトサロン**では市民写真家の作品発表や撮影会などイベントが数多く開催される。

※「鶴川駅」0番乗場から鶴57系統で「やくし台センター」下車徒歩約5分 6時～18時(6～8月は19時まで) 【上記9アクセスも可】

11 町田リス園 (金井町 733-1) ☎042(734)1001

約400匹のタイワンリスを放し飼いにしている。手袋の上へえさをのせて、リスたちに餌をやることのできる。その他ウサギやモルモット、カメなどもいる。

※「鶴川駅」0番乗場から町53系統で「薬師池」下車徒歩約1分 ■火曜休館(祝日・振替休日の場合開館) 6・9・12月は第1火～金曜、12月27日～1月2日休館 10時～16時(3～10月の日曜・祝日は17時、12月は15時まで)/入園料:中学生以上400円・3才～小学生200円

12 町田えびね苑 (本町田 3129-5) ☎042(724)4399

花の咲く期間だけの開園にもかかわらず、多くの愛好者が訪れる。ジエビネやキエビネなどの約3万株が群生。同時季にはクマガイソウやクリンソウなどの風情ある野草も楽しめる。アジサイが咲く6月上旬には、無料開園あり。

※「鶴川駅」0番乗場から町50/54系統で「藤の台団地」下車徒歩約5分 ■開花時のみ開園 8時30分～16時/入園料:大人300円、小中高生100円

13 町田市立博物館 (本町田 3562) ☎042(726)1531

市内の埋蔵文化財や民俗文化財などの収集、保存、展示からスタートし、現在はガラス器、陶磁器などの美術工芸品を中心に資料の収集を行っている。とりわけ、東西のガラス工芸品や東南アジアの陶磁器の収蔵量は国内有数。常設はなく、企画展が中心。博物館に隣接する**本町田遺跡公園**では、縄文と弥生の縦穴式住居が2棟がそれぞれ復元されている。2つの時代を重ねた貴重な遺跡。

※「鶴川駅」0番乗場から町50/52/54系統で「市立博物館前」下車徒歩約7分 ■月曜休館(祝日・振替休日の場合開館)・12月28日～1月4日休館 9時～16時30分/入館料:企画により異なる

鶴川駅周辺

14 香山園 (能ヶ谷 2-17-1) ☎042(735)5702

小田急線鶴川駅北側、目の前に見える高台に7世紀後半の横穴古墳群があった。1928年(昭和3)東南麓の土砂崩れ及び1956年(昭和31)の道路拡張工事により横穴が発見された。現在は神蔵(かみくら)家が庭園美術館として庭園内を公開、出土品を随時展示している。白洲正子の「鶴川日記」には「今は藪の中になって、横穴の跡もさだかではないが、そのあたりを通るたびごとに、遠くかすかに防人の妻の悲しい歌声がひびいて来る」と往時をしのぶ記述がある。 **2015年3月29日を以て閉館**

※「鶴川駅」より徒歩約5分 ■木・金・土・日曜・祝日開館、年末年始・8月中旬休館あり 10時～17時(入館は16時まで)/入館料:1,000円

15 あとりえ・う (畦地梅太郎ギャラリー) (鶴川1-13-12) ☎042(734)8586

「山」を主題に刻みつけた版画家、畦地梅太郎(1909～1999)は、1976年から亡くなるまでこのアトリエ兼自宅に住んだ。素朴でどこか懐かしい畦地版画、室生犀星の依頼で著作の表紙を手がけ、山の雑誌「アルプ」では、表紙画を描き、画文を連載してきた。晩年の代表作「石槌山」「みどりさわやか」(鶴川市民センター綴帳)などの版画はここで制作。生前、275点の自作版画を町田市に寄贈した。近年、旧アトリエはギャラリー「あとりえ・う」として生まれ変わった。

※「鶴川駅」下車徒歩8分 ■木・金・土・日曜・祝日開館(不定期で休館日あり) 11時～16時(夏期は17時まで)

16 旧白洲邸 武相荘 (能ヶ谷 7-3-2) ☎042(735)5732

随筆家・白洲正子(1910～1998)が住んだ能ヶ谷の家。約120年前に建てられた農家を改修した茅葺きの平屋で山を背にした静かな環境に竹林が覆っている。正子の夫は「吉田茂の懐刀」として知られる白洲次郎で「武相荘」の名は、武蔵・相模の境に位置することと自身の「無愛想」をかけて次郎が命名した。戦時中、戦火を免れるために梅若家先祖伝来の能面・衣裳を預かり、戦後は河上徹太郎夫妻も寄寓した。正子は能に造詣が深く、能を基にした作品を多く執筆した。

※「鶴川駅」より徒歩約15分、またはバス2・4番乗場から鶴13系統などで「平和台入口」下車徒歩1分 ■月曜休館(祝日・振替休日の場合開館)、夏季・冬季休館あり 10時～17時(入館は16時半まで)/入館料:1,000円(小学生以下入館不可)

鶴川駅バス乗場から

17 広袴不動尊 (広袴 2-14-23)

柳田国男(1875～1962)が広袴にやってきたのは1943年(昭和18)11月。「神奈川県との境になって居る広袴といふ村は、何か古い事の探しださせさうな村だがー」(民間伝承)。柳田は白足袋に袴姿で戦時下の村を歩いた。妙全院(曹洞宗)広袴不動尊では縁起などを聞き、養蚕の「糸引き観音」にも関心を寄せた。この時期、柳田は町田に興味を持ち、成瀬・本町田・三輪にも足を運んだ。

※「鶴川駅」4番乗場から鶴26系統で「広袴中央」下車徒歩約3分

18 慶性寺 (大蔵 2177) ☎042(735)5469

アララギ派の女流歌人今井邦子(1890-1948)が戦時中鶴川村に疎開し、ここ慶性寺不動堂でほぼ一年を過ごした。「月更けてわが寝る堂のすき間より心かなしくさし入りて居り」と歌った。

※「鶴川駅」0番乗場から鶴33系統で「金井入口」下車徒歩約3分

19 高蔵寺 (三輪町 1739) ☎044(988)2585

北原白秋(1885～1942)が1935年秋、柿生から王禅寺を訪ねる途中道に迷って立ち寄った三輪の秋を短歌に詠んでいる。「高蔵寺しづかやと散葉眺めて梢の柿のつやつやしいる」(「高蔵寺をたづねて」)。このとき町田を詠んだ七首が、第10歌集「椽(つるばみ)」に収載された。高蔵寺は真言宗豊山派の古刹。「石楠花(しゃくなげ)の寺」で知られる。

※「鶴川駅」4番乗場から鶴01系統で「上三輪クラブ前」下車徒歩約4分

20 西谷戸横穴墓群 (三輪緑山1丁目三輪緑山三号緑地)

三輪の椋山神社南方丘陵斜面に9基の横穴墓が3つのグループを形成して存在していることが昭和58年～59年の本格的調査によって明らかにされた。そのうち5基から人骨の一部や副葬品としてガラス小玉や金銅製太刀の把頭・鏝などの刀装具が出土。フェンスで囲われているので中を見ることはできないが、低地からは丘陵崖面につくられた横穴墓の群れ全体の様子がよくわかる。

21 椋山神社 (三輪町 1618)

奈良時代、大和(現・奈良県桜井市)からこの地に移り住んだ人たちが故郷を偲んで建てた社。主祭神も大和・三輪神社と同じ大物主命。近くの熊野神社も同じ頃、大和からの勧請と伝わる。「千数百年の昔、大物主を奉じてはるばる大和からこの肥沃な平地に住みついたに違いない。」(白洲正子「鶴川日記」)。柳田国男の「炭焼日記」にも「三輪町遊び。熊野社と杉山社に詣づ」(昭和19年3月9日)との記録がある。 ※「鶴川駅」4番乗場から鶴01系統で「三輪」下車徒歩約5分

22 妙福寺 (三輪町 811) ☎044(988)0316

身延山久遠寺を総本山とする日蓮宗の寺。1391年(明徳2)日徳上人により開山、祖師堂は東京都指定文化財、本堂・山門・鐘楼門は町田市有形文化財に指定されている。参道脇に石川桂郎没後「風土」俳句会同人の発案で建立された句碑「たかなやけふを明日へと数へをり 桂郎」(平成3年11月吉日 風土俳句会建之)がある。

※「鶴川駅」4番乗場から鶴01系統で「妙福寺前」下車徒歩約3分

23 寺家ふるさと村 (横浜市青葉区寺家町) ☎045(962)7414

横浜市の北西部に位置し、町田市三輪町と川崎市麻生区柿生に隣接している。周辺は住宅地に囲まれているが、里山と谷戸田が美しく、昔ながらの田園風景が色濃く残っている。総合案内を行う「四季の家」をはじめ、周辺には食事処や郷土文化館、陶芸舎、体験温室、釣り堀、テニスクラブなど各施設がある。

※「柿生駅」から市が尾駅・桐蔭学園行き「早野」または「鉄町」下車徒歩約10分

24 こどもの国 (横浜市青葉区奈良町 700) ☎045(961)2111

多摩丘陵の雑木林をそのまま生かした自然の遊び場。広大な敷地内には散策道路がめぐらされ、遊具広場や芝生広場、ミニS/L、ローラー滑り台、ミニアスレチック、サイクリングコースなどがある。牧場には牛やヒツジが放牧され、「こども動物園」ではウサギやポニーとふれあうことができる。サッカー場やグラウンド、屋外プール、スケート場のスポーツ施設を利用したり、飯ごう炊事やバーベキュー、オリエンテーリングやウォークラリーを楽しむもよし。四季を通じて家族連れから学校や会社など多くの人に利用されている。

※「鶴川駅」3番乗場から鶴07系統で「こどもの国」下車徒歩すぐ ■水曜休館(祝日の場合開館)・12月31日・1月1日休館 9時30分～16時30分(7・8月は17時)/入園料:高校生以上600円、小中学生200円、幼児100円



編集にあたっては、町田市民文学館発行「町田文学散歩マップ(鶴川編)」を参考にしています。